

清流



平成30年11月30日 文責 石丸 慎也

大切にしたい 子どもの思い ～ 人権標語 表彰

先日、春日公民館で「大和町人権ふれあい標語」入賞作品表彰式が行われました。川上小学校からも多くの子ども達の作品が評価されましたので紹介します。一つ一つの作品が重みのあるしっかりとした言葉で表現されています。

最優秀賞 1年 F・Kさん
「遊ぼうよ」 みんなに言われて うれしいな

優秀賞 1年 T・Yさん
だれでもね みんながだいじ なかまだよ

優秀賞 2年 K・Sさん
「遊ぼうよ」 一人のあの子 輪の中に

優秀賞 3年 N・Rさん
考えて 自分が言った その言葉

優秀賞 4年 T・Kさん
親切も 意地悪するのも ブーメラン

優秀賞 5年 E・Mさん
悪口は 自分も相手も 傷つくよ

優秀賞 5年 N・Yさん
SOS 心のさけび 聞こえてる？

※お子様の名前に
つきましては、
配布したプリント
では実名で表記
しています。



表彰式の様子



6年生による報告

また表彰式の前には、本校6年生による「平和学習の報告と絵本の読み語り」がありました。先日の長崎市での平和についての学びの成果と映像を使った「へいわってどんなこと？」という浜田桂子さんの作品の内容を紹介してくれました。

心にしみるハーモニカ演奏と読み語り



コン・カローレ佐賀による演奏



「はなちゃんのみそ汁」の場面



手話で「ふるさと」を歌う

今回のこの企画は図書委員会が“もみじ祭り”の一環として主催したものです。

今週、コン・カローレ佐賀（25名）の皆さんによるハーモニカ演奏と、村岡さんと藤瀬さんお二人による読み語りがありました。

まず、複音ハーモニカをはじめ5種類のハーモニカの音色を合わせて「さんぽ」など6曲（「365日の紙飛行機」「エーデルワイス」「ドレミのうた」「フニクリフニクラ」「帰れソレントへ」）の演奏を聴かせてもらいました。いろいろな音色を合わせて一つの曲を生み出すことの素晴らしさやその景色をも思い浮かべさせる演奏の力を感じました。「ドレミのうた」や「フニクリフニクラ」では歌を口ずさんだり体でリズムをとったりしている子が多くいました。

また、読み語り「はなちゃんのみそ汁」では、優しいBGMや効果音を背景に、理解しやすく、心に染み入るような話の内容にどの子どもも感動していたようでした。お話の最後に、お父さんがはなちゃんの作ったみそ汁をのんでいたとき、天国にいるお母さんもきっと笑顔で見ていたのだろうなと思いました。

最後に全員で「ふるさと」を合唱しました。コン・カローレ佐賀の皆さんの演奏に合わせて、村岡さんから教えてもらった手話を交えながら心を込めて歌いました。

感想交流では（感動しました）（音やリズムが分かり易かった）（手話を覚えて会話をしたい）などの声が子ども達から寄せられました。



校長室から

朝、子ども達が運動場で野球をしていた。自分もバッターボックスに立たせてもらった。1球目、空振り！2球目もバットが空を切る。“よし！”と気合いを入れ直す。そして3球目，“来た！いい球だ！”低めのまっすぐ。バットを振った。しかし…、芯には当たらず内野ゴロでアウト。少年時代のいい思い出だけが自分をなぐさめる。